

## 平成29年度 教育活動アンケート集計結果

No.	観 点	評価(4点満点中の平均値)		
		学校 関係者	保護者	教職員
1	学校は、学校教育目標「学ぶ子」「やさしい子」「元気な子」の達成を目指し、活力と魅力あふれる学校づくりに努めている。	3.4	3.4	3.6
2	学校は、「わかる・できる」を実感させるように授業を工夫・改善し、学力の向上に努めている。	3.6	3.2	3.6
3	学校は、豊かな心を育てるために道徳科の授業やささまざまな体験活動、交流活動の充実に努めている。	3.6	3.4	3.8
4	学校は、体力の向上を図るために、体育的活動(鷲の子タイムなど)や体育授業の工夫や充実に努めている。	3.5	3.5	3.6
5	お子さんは、楽しく学校にかよっている。	3.6	3.5	3.4
6	お子さんは、学校や家庭のきまりや約束を守って生活している。	3.0	3.2	2.8
7	お子さんは、自分からはっきりと家族や地域の方々にあいさつをしている。	2.3	2.9	2.5
8	お子さんは、進んで家庭学習(宿題、自主学習など)に取り組んでいる。	3.0	2.9	2.4
9	学校は子供にとって安心して居心地のよい学級をつくり、子供一人一人のよさや可能性を引き出すことに努めている。	3.4	3.1	3.3
10	学校は、積極的に地域に出かけたり、外部指導者や地域の方々などを招いたりして特色ある教育活動を展開している。	3.4	3.3	3.4
11	学校は、規律ある態度の定着、いじめ問題の未然防止や早期解決のために、子供に寄り添い、継続して指導、見届けをしている。	3.6	3.1	3.3
12	学校は、子どもが安心して安全に過ごせるように、安全指導や安全管理、環境整備に努めている。	3.8	3.4	3.4
13	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動や子どもの様子について情報提供に努めている。	3.8	3.4	3.6
14	学校は、授業や学校行事などの教育活動を積極的に公開している。	3.9	3.5	3.7
15	学校や、保護者や地域の方々の声にしっかり耳を傾け、適切に対応している。	3.6	3.3	3.6
16	学校は、PTA活動や地域の行事などに協力的である。	3.6	3.4	3.7



# アンケート集計結果の分析と考察

## (1) 学校評価保護者アンケートについて

評価の数値が高かったのは、「体力の向上を図るために、体育的活動（鷺の子タイムなど）や体育授業の工夫や充実に努めている。」「お子さんは、楽しく学校にかよっている。」「学校は、授業や学校行事などの教育活動を積極的に公開している。」である。これは、オープン参観や授業参観、学校行事などの機会に学校を保護者、地域の方々に公開している一定の成果といえるだろう。また、児童が「楽しく学校にかよっている。」要素として、「授業が楽しい」「友だちと活動することが楽しい」「様々な行事等が楽しい」などが考えられる。今後も子どもたちが楽しく学校に通えるよう教育活動の充実に努めていく。

数値が低かったのは、「お子さんは、自分からはっきりと家族や地域の方々にあいさつをしている。」「お子さんは、進んで家庭学習（宿題、自主学習など）に取り組んでいる。」である。あいさつについては、月別生活目標において、4月「元気にあいさつ」、9月「進んであいさつ」、1月「心をこめてあいさつ」と各学期はじめに設定し、取り組んできた。また、年間を通して全校朝会での校長講話や登校指導、道徳を中心とした授業等において指導してきた。今後も振り返りをしながら、継続して取り組むとともに教職員自ら元気なあいさつに取り組んでいくようにする。また、地域の方々を対象に実施した「コミュニティ・スクールに関するアンケート」の結果をみてもあいさつが課題となっている。学校運営協議会で解決策を話し合い、地域全体であいさつができるようお願いしていく。

家庭学習については、各家庭で宿題や自主学習などに協力をいただいているところだが、今後も引き続き各家庭の協力をお願いするとともに学校からの宿題や自主学習などの課題の出し方を工夫していく。

## (2) 学校評価教職員自己評価について

評価の数値が高かったのは、「学校は、豊かな心を育てるために道徳科の授業やさまざまな体験活動、交流活動の充実に努めている。」「学校は、授業や学校行事などの教育活動を積極的に公開している。」「学校は、PTA活動や地域の行事などに協力的である。」である。「豊かな心を育てる教育」について、本校では、平成28・29年度久喜市教育委員会の研究委嘱を受け、道徳教育に力を入れてきた。一定の成果の現れと言えるだろう。今後も更なる充実に努めていく。

数値が低かったのは、「児童は、自分からはっきりと家族や地域の方々にあいさつをしている。」「児童は、進んで家庭学習（宿題、自主学習など）に取り組んでいる。」である。どちらも保護者アンケートにおいても数値が低かった項目であり、これまでの取組、今後の取組については、前述の通りである。いずれも学校での取組、指導が重要であることはもちろんだが、保護者・地域の方々の協力が不可欠な項目である。これまでも保護者・地域の方々には協力をいただいているが、今後さらに学校・家庭・地域の役割を明確にし、成果が上がるよう取り組んでいく。また、学校関係者評価でも、「児童は、自分からはっきりと家族や地域の方々にあいさつをしている。」の項目の数値が低かった。本校の最重要課題と捉え、地域全体で取り組んでいくようにする。